

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業の今後の方向性等に  
関する有識者会議の設置について

平成30年1月4日  
科学技術・学術政策局長決定

1. 目的

文部科学省では、先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的能力や科学的思考力等を培い、将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、またその達成に必要な高等学校等の理数教育に関する教育課程等の改善に資するため、先進的な理数系教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」として指定し支援するスーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業を実施している。

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業は事業開始より15年が経過するとともに、平成34年度以降、新たな探究的科目「理数探究」を含む新学習指導要領が実施されるなど、一つの節目を迎える。加えて、平成29年度秋の年次公開検証（「秋レビュー」）において指摘を受けたことも踏まえ、本事業の今後の在り方について検討することとする。

以上より、これまでの取組・成果を踏まえつつ、本事業の今後の方向性等について事業の改善のため有識者から知見を得る「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業の今後の方向性等に関する有識者会議」（以下、「会議」という。）を設置する。

2. 検討事項

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業に係る以下の事項を検討する。

- ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業の今後の在り方について
- ・その他必要な事項

3. 会議の構成及び運営について

会議は別紙の協力者の協力を得て、また、初等中等教育局教育課程課長、科学技術・学術政策局人材政策課長の参加により、上記2に掲げる事項について検討を行う。

4. 設置期間

期限は平成31年3月31日までとする。

5. その他

- ・会議に関する庶務は、初等中等教育局教育課程課の協力を得て、科学技術・学術政策局人材政策課で処理する。
- ・その他会議の運営に関する事項は、必要に応じ会議に諮って定める。

(別紙)

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業の今後の方向性等に  
関する有識者会議名簿

荒瀬 克己	大谷大学文学部 教授
菊池 正仁	日本理化学協会 事務局長
重松 敬一	奈良教育大学 名誉教授
末富 芳	日本大学文理学部 教授
隅田 学	愛媛大学教育学部 教授、愛媛大学附属高等学校 副校長
竹内 昭	株式会社シンコー警備保障 代表取締役社長
千葉 和義	お茶の水女子大学副学長・教授、お茶の水女子大学附属学校部長
細田 宏	日本教育公務員弘済会埼玉支部長

平成 30 年 1 月 4 日現在  
(五十音順・敬称略・委員数 8 名)